

委員会報告

平成24年度消化器がん検診全国集計

Ⅰ. 胃がん検診全国集計

Ⅱ. 大腸がん検診全国集計

Ⅲ. 食道がん検診および肝胆膵検診全国集計

日本消化器がん検診学会全国集計委員会

北川 晋二, 宮川 国久, 入口 陽介, 大黒 隆司,
小川 眞広, 小林 正夫, 丹羽 康正, 藤谷 幹浩,
松浦 隆志, 松田 徹

はじめに

全国集計委員会が担当する全国集計は、今回でその30回目にあたる。平成24年度の調査は調査票を送付する方法に加え、コンピューター入力用プログラムを送付しCD-Rディスクにて回答を求める方法も行った。

Ⅰ 胃がん検診全国集計成績

1. 胃がん検診全国集計対象機関の区分と機関別受診者

検診機関を区分別にみると、検診の統計をよく行っているⅠ群の割合は、間接がん検診機関では168カ所中150カ所（89.3%）、直接がん検診では137カ所中118カ所（86.1%）、デジタルがん検診では261カ所中237カ所（90.8%）であった（表1）。

平成24年度の受診者総数は、6,948,781人で、発見胃癌の実数は5,416例（0.078%）であった。精検受診率を100%とした場合の推定発見胃癌数8,913例（0.128%）であった（表2）。

胃がん検診の受診者総数の年次別推移をみると、図1に示すように平成24年度の受診者総数は、前年度と比べ約11万人、1.6%増加した。

2. 撮影方法

胃X線撮影法について検診機関数を分母にしてみると、撮影枚数は間接がん検診では6枚の機関はなく、7枚が8.9%、8枚以上が86.9%で、増加傾向を示し、学会の勧告した標準枚数がかかなり定着していると考えられた（図2-a）。200%以上のバリウムを用いている施設は、間接がん検診で85.7%、直接がん検診で82.4%、デジタルがん検診で84.7%を占めていた（図2-b）。バリウムの量は間接がん検診、直接がん検診、デジタルがん検診とも、131～150mlが最も多く使われており、少量の高濃度バリウムで検査する施設が増加していた（図2-c）。バリウムの濃度と量の関係を図2-dに示すが、負の相関を示した。

撮影者については、間接がん検診では、医師が撮影する機関は0.6%、技師が行う機関は95.2%、両者で撮影するもの0.6%であった。直接がん検診では医師が4.4%、技師は80.2%、両者が8.8%であった。デジタルがん検診では医師が1.5%、技師は91.2%、両者が2.3%であった（図2-e）。

3. 読影状況

読影状況についてみると、ダブルチェックを行っていない機関が間接がん検診で7.7%、直接が

表 1 胃がん検診全国集計対象機関の区分 (平成24年度)

	機関数		
	1) 間接がん検診	2) 直接がん検診	3) デジタルがん検診
性・年齢別に受診者、要精検者、精検 Ⅰ群 受診者、発見胃癌患者が把握され、且 つ癌患者の個人票の揃っているもの	150 (89.3 %)	118 (86.1 %)	237 (90.8 %)
Ⅱ群 性・年齢別に集計されていないもの 及び集計数のみ判明するもの	18 (10.7 %)	19 (13.9 %)	24 (9.2 %)
計	168	137	261

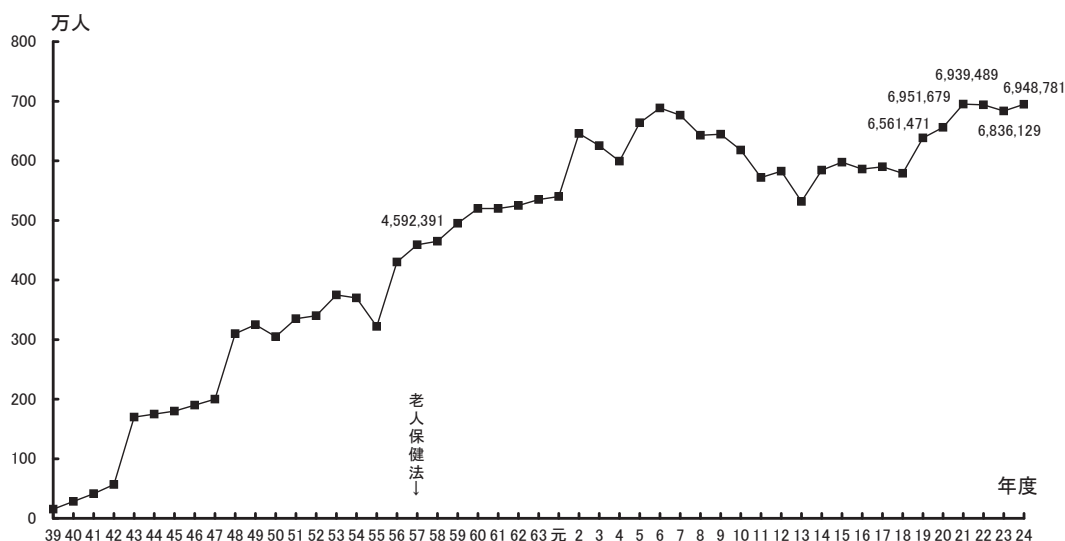
(注): 1)間接X線撮影による胃がん検診のこと
2)直接X線撮影による胃がん検診のこと
3)デジタルX線撮影による胃がん検診のこと

表 2 対象機関別受診者数と発見胃癌数
(平成24年度, 男女計, 間接, 直接, デジタルの合計)

区分	受診者数	発見胃癌数 (実数)	率	(推定数)	(推定率)
Ⅰ群	6,591,438	5,361	0.081 %	8,506	0.129 %
Ⅱ群	357,343	55	0.015 %	519	0.145 %
総計	6,948,781	5,416	0.078 %	8,913	0.128 %

* 推定率は各群の精検受診率(Ⅰ群63.0%、Ⅱ群10.6%)を100とした場合、未受診者も
受診者と同じ率で、胃癌が発見されるものとして算出したもの

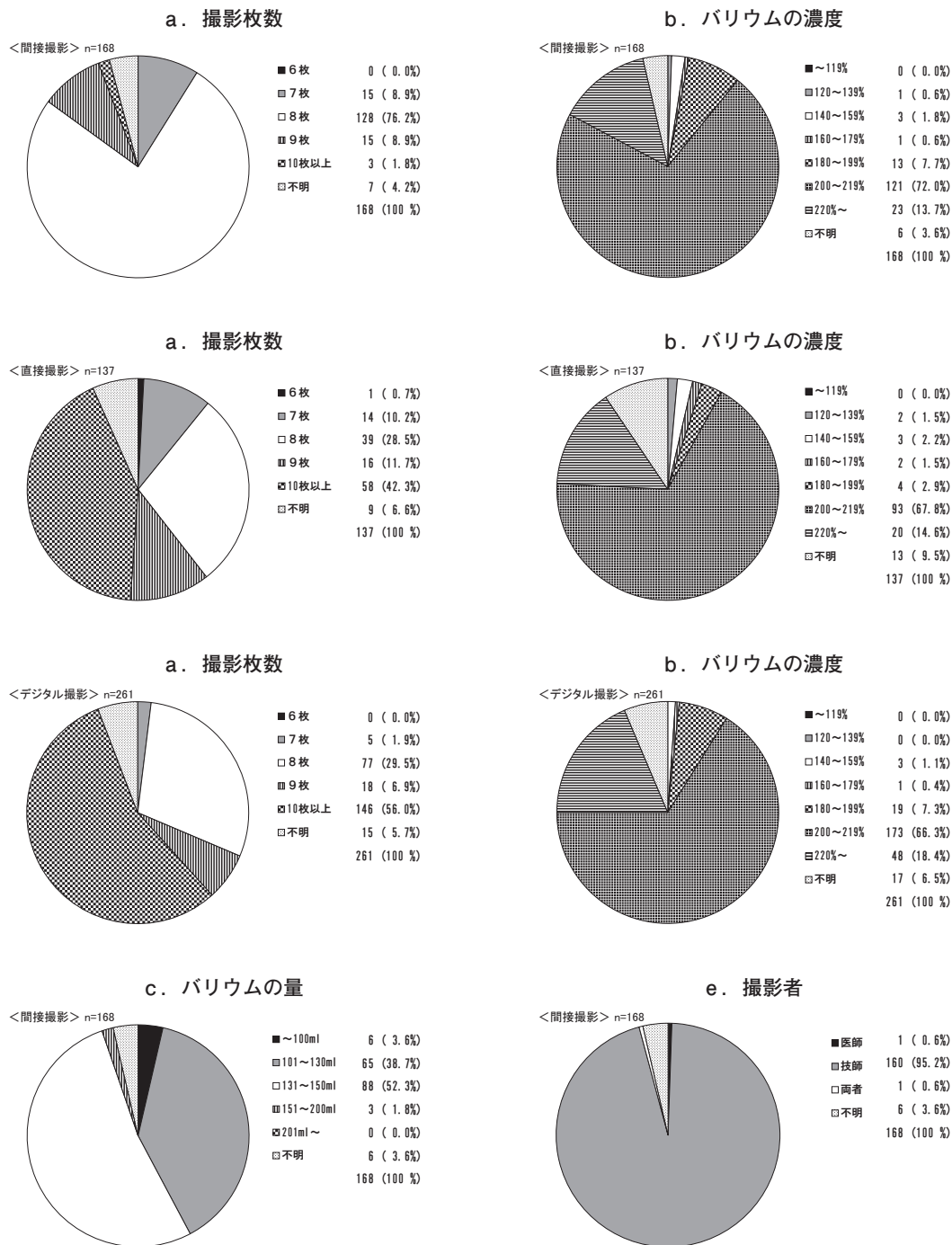
図 1 胃がん検診の年度別集計対象数の推移 (昭和39年度～平成24年度学会による全国集計)



ん検診で5.8%, デジタルがん検診で14.6%あった
(図3-a)。認定医の有無についてみると, 間
接がん検診を行っている検診機関では68.5%, 直

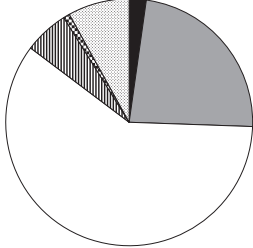
接がん検診の機関では, 61.3%, デジタルがん検
診の機関では, 65.9%に認定医がいるという状況
であった(図3-b)。

図2 撮影方法



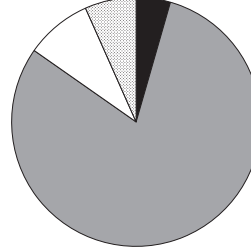
c. バリウムの量

<直接撮影> n=137



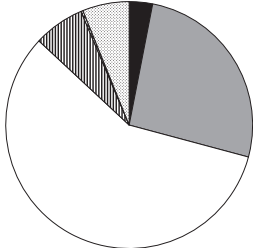
e. 撮影者

<直接撮影> n=137



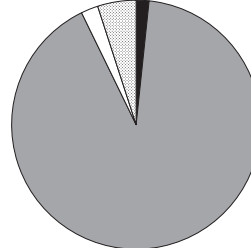
c. バリウムの量

<デジタル撮影> n=261



e. 撮影者

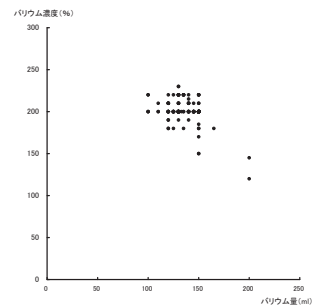
<デジタル撮影> n=261



d. バリウムの濃度と量

図2 撮影方法

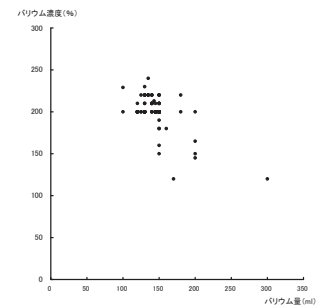
<間接撮影> d. バリウムの濃度と量



d. バリウムの濃度と量

図2 撮影方法

<直接撮影> d. バリウムの濃度と量



d. バリウムの濃度と量

図2 撮影方法

<デジタル撮影> d. バリウムの濃度と量

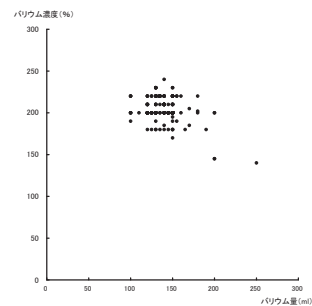


図3 読影状況

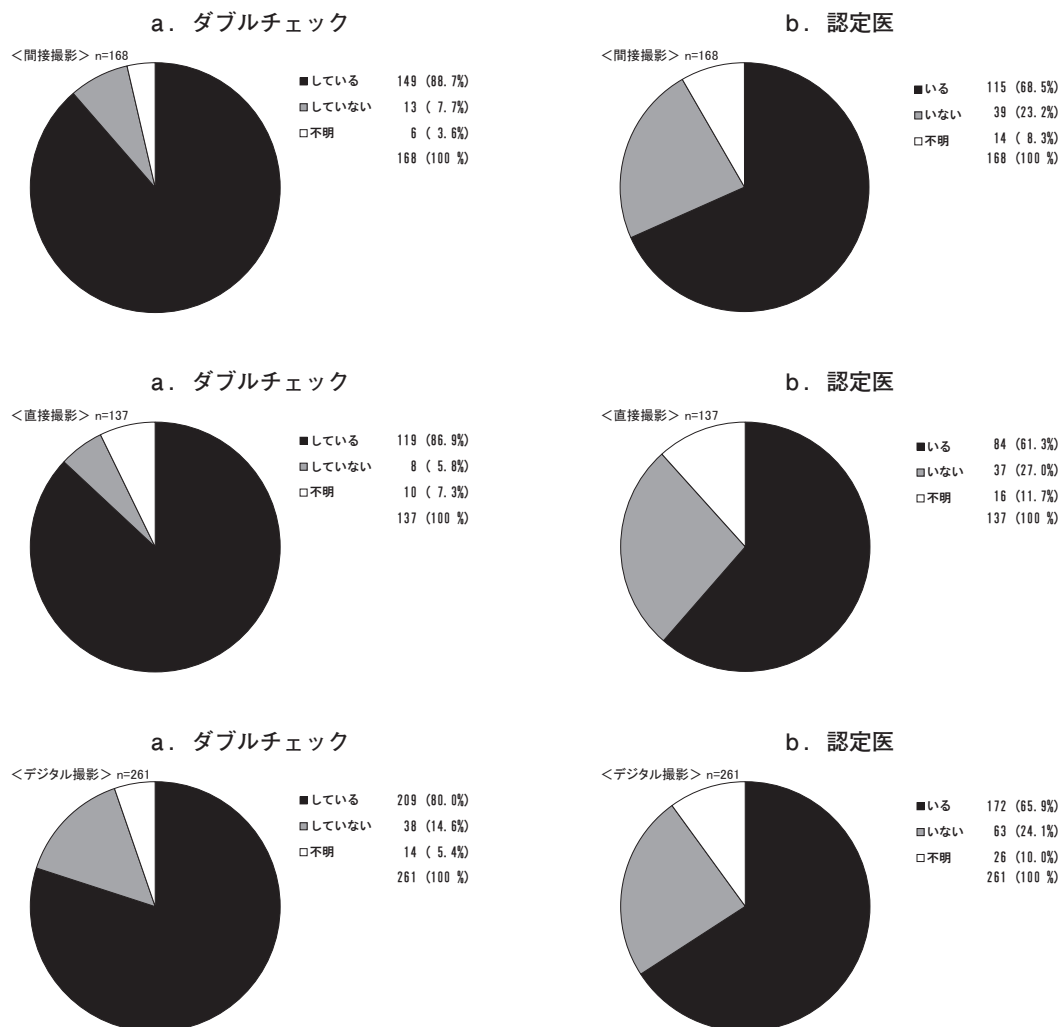


表3 地域・職域検診別の検診成績

(I, II群, 間接・直接・デジタルがん検診, 男女合計, 平成24年度)

	地域検診	職域検診	計
検 診 数	2,560,982	3,425,765	5,986,747
要 精 検 者 数	219,092	202,222	421,314
要 精 検 率	8.6 %	5.9 %	7.0 %
精検受診者数	174,024	87,309	261,333
精 検 受 診 率	79.4 %	43.2 %	62.0 %
発 見 胃 癌 数	3,958	1,027	4,985
発 見 率	0.155 %	0.030 %	0.083 %

図4 精検以後の管理

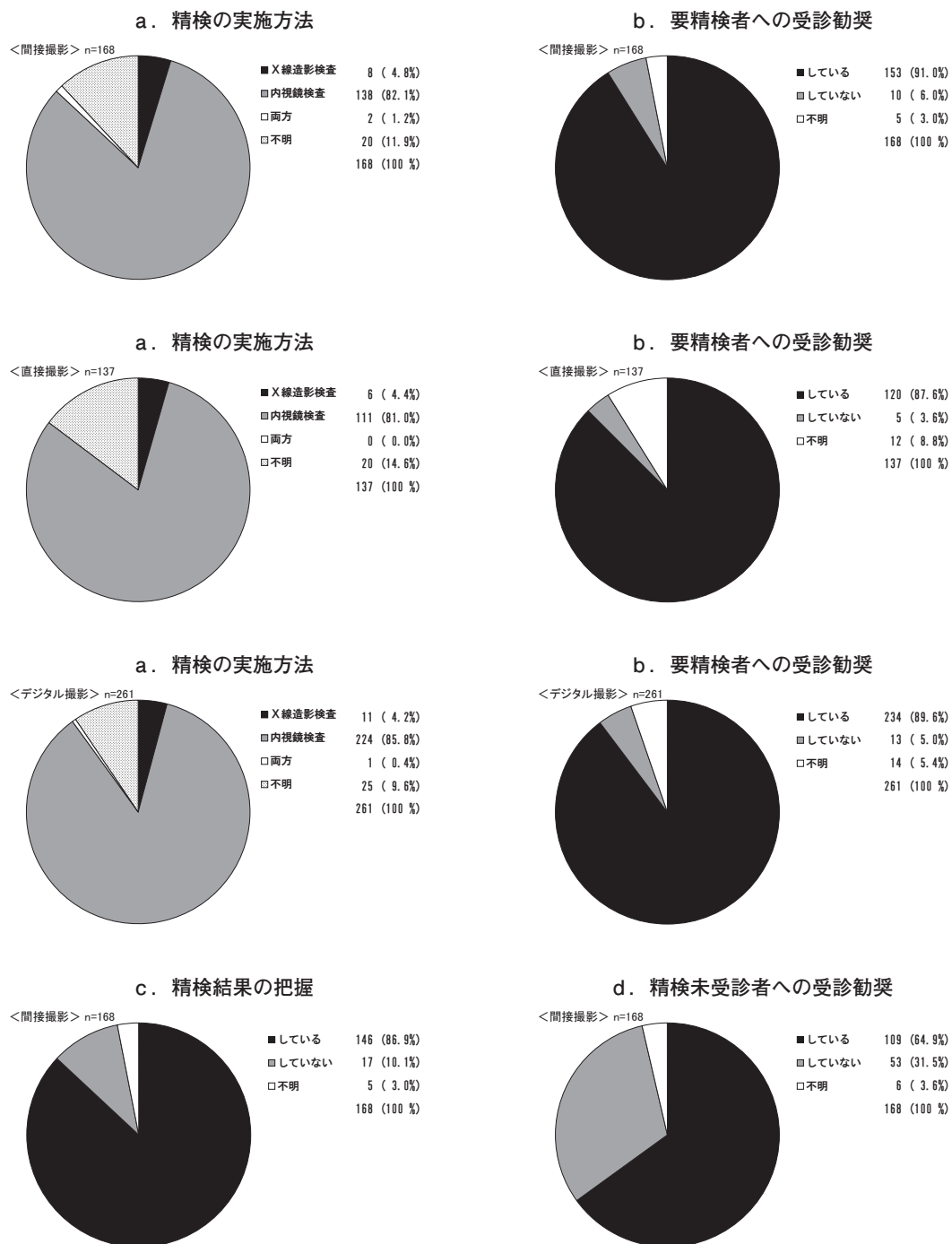


図4 精検以後の管理

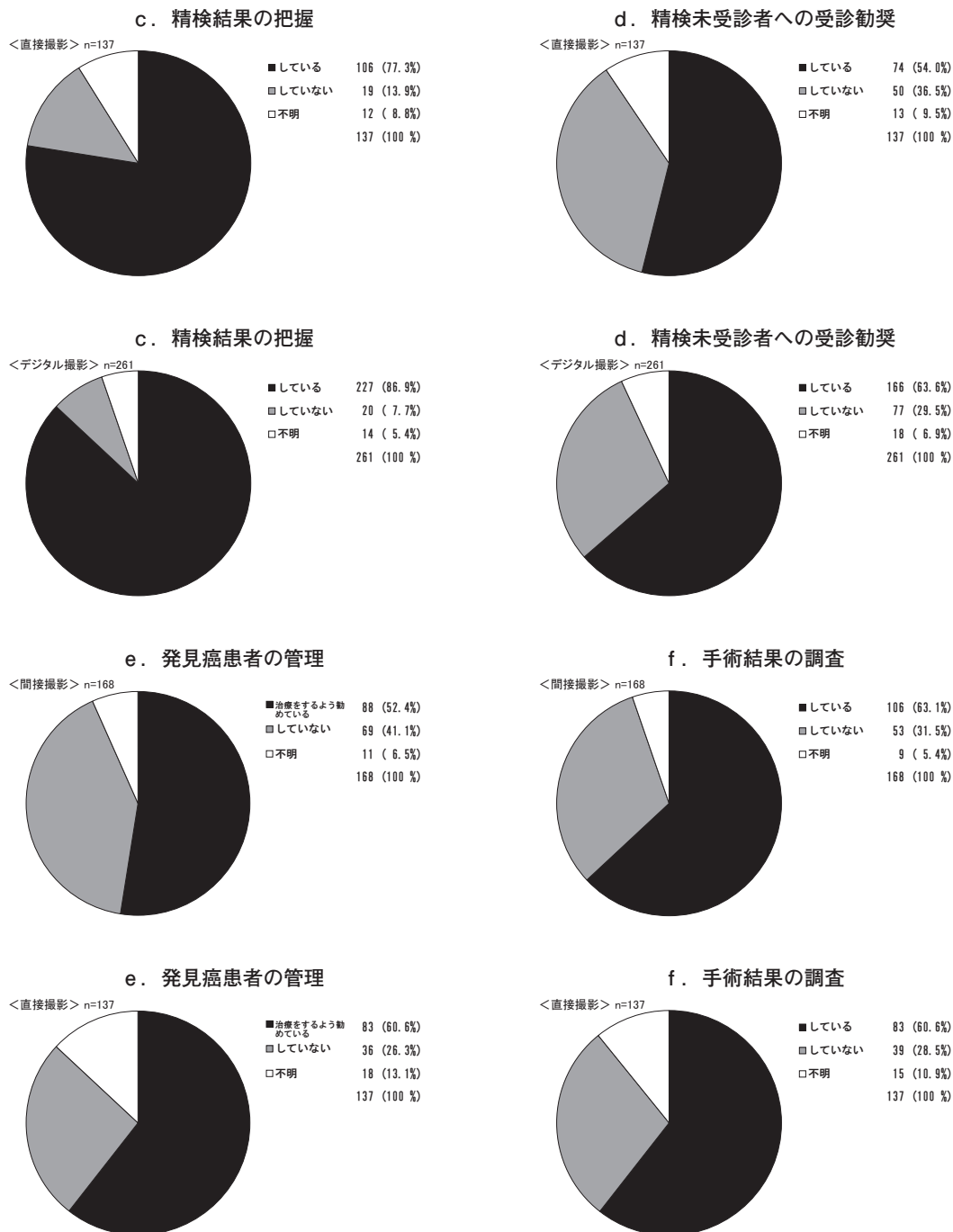
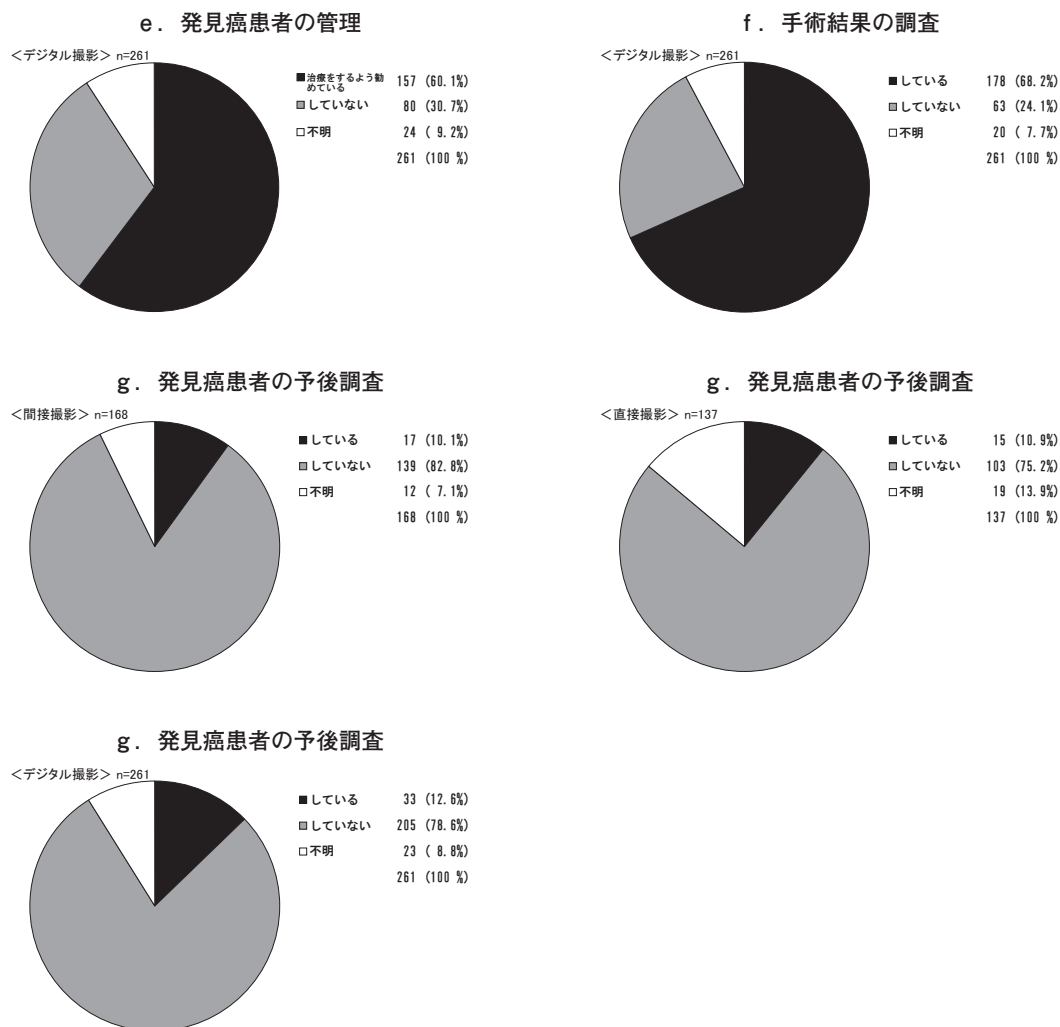


図4 精検以後の管理



4. 精検以後の管理

精検以後の管理の方法について、間接がん検診の場合について述べると、精検の実施方法では、X線検査であるもの4.8%、内視鏡検査であるもの82.1%、X線検査と内視鏡検査両方を施行しているのは1.2%であった。要精検者に対する受診勧奨をしているのは91.0%（図4－b）、精検結果の把握をしているところは86.9%（図4－c）、精検未受診者への受診勧奨を行っているのは64.9%（図4－d）、発見胃癌患者への治療の勧奨を

積極的に進めているところは52.4%（図4－e）、手術結果の調査をしているところは63.1%（図4－f）、またその予後調査をしているところは10.1%であった（図4－g）。直接がん検診の場合は、発見癌患者への治療の勧奨をしているところが60.6%、手術結果の調査をしているところは60.6%、患者の予後調査をしているところは10.9%であった。デジタルがん検診の場合は、発見癌患者への治療の勧奨をしているところが60.1%、手術結果の調査をしているところは68.2%、患者

表4 地域・職域・人間ドック検診別の検診成績
(Ⅰ, Ⅱ群, 間接がん検診, 男女合計, 平成24年度)

	地域検診	職域検診	人間ドック	計
検 診 数	1,316,909	1,026,047	10,339	2,353,295
要 精 検 者 数	110,565	60,109	648	171,322
要 精 検 率	8.4 %	5.9 %	6.3 %	7.3 %
精検受診者数	87,159	25,046	355	112,560
精 検 受 診 率	78.8 %	41.7 %	54.8 %	65.7 %
発 見 胃 癌 数	1,873	253	5	2,131
発 見 率	0.142 %	0.025 %	0.048 %	0.091 %

表5 間接・直接・デジタルがん検診別の検診成績
(Ⅰ, Ⅱ群, 男女合計, 平成24年度)

	間接がん検診	直接がん検診	デジタルがん検診	計
検 診 数	2,355,643	718,050	3,875,088	6,948,781
要 精 検 者 数	171,559	50,063	252,790	474,412
要 精 検 率	7.3 %	7.0 %	6.5 %	6.8 %
精検受診者数	112,702	24,821	150,745	288,268
精 検 受 診 率	65.7 %	49.6 %	59.6 %	60.8 %
発 見 胃 癌 数	2,132	471	2,813	5,416
発 見 率	0.091 %	0.066 %	0.073 %	0.078 %

図5 性・年齢階級別受診者数 (平成24年度)
(地域, 職域, 個別, 人間ドック合計)

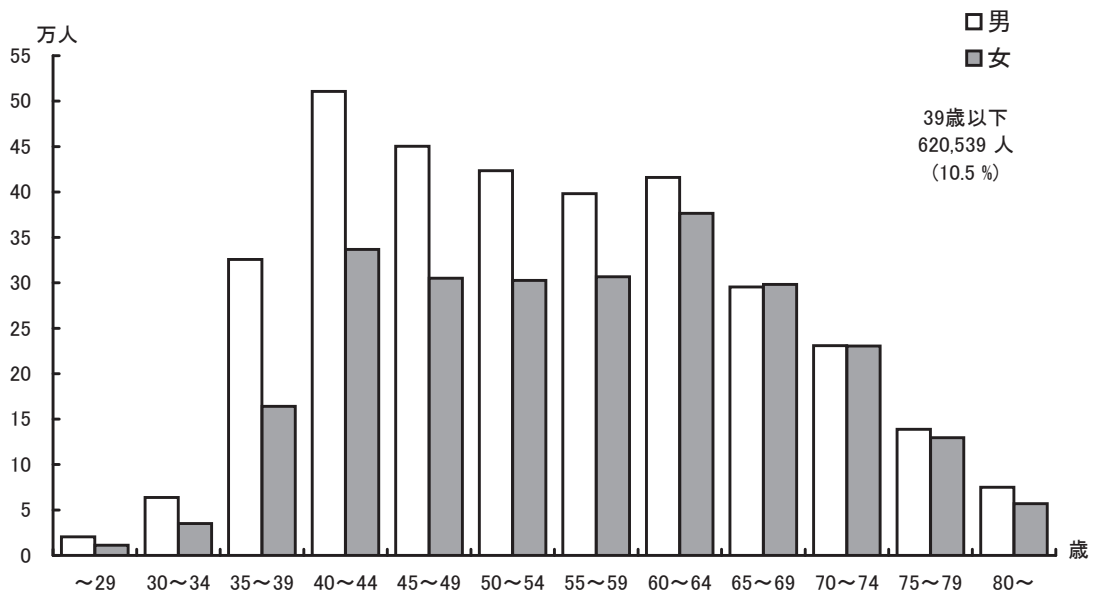


表6 性・年齢別胃がん検診全国集計成績—男性—直接・間接・デジタル、地域・職域・個別検診、人間ドック合計（平成24年度）

	総数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	3,362,234	20,532	63,704	325,797	510,746	450,266	423,359	398,101	415,983	295,478	230,844	138,844	75,029	13,551
B 要精検者数	264,090	502	1,891	11,397	22,831	24,934	31,278	37,233	45,257	33,637	27,281	17,016	9,145	1,688
B/A %	7.85 %	2.44 %	2.97 %	3.50 %	4.47 %	5.54 %	7.39 %	9.35 %	10.88 %	11.38 %	11.82 %	12.26 %	12.19 %	12.46 %
C 精検受診者数	156,356	214	906	4,942	10,701	11,412	15,190	18,743	26,337	23,845	21,196	13,972	7,554	1,344
C/B %	59.21 %	42.63 %	47.91 %	43.36 %	46.87 %	45.77 %	48.56 %	50.34 %	58.19 %	70.89 %	77.70 %	82.11 %	82.60 %	79.62 %
D 胃癌	3,734	0	1	19	40	69	131	310	656	727	757	565	406	53
D/A %	0.111 %	0.000 %	0.002 %	0.006 %	0.008 %	0.015 %	0.031 %	0.078 %	0.158 %	0.246 %	0.328 %	0.407 %	0.541 %	0.391 %
非上皮性悪性腫瘍	83	0	0	2	1	3	10	10	9	15	11	10	9	3
胃腺腫(異型上皮)	696	1	0	1	5	11	16	50	109	147	146	121	82	7
胃ポリープ	18,866	24	110	751	1,335	1,480	1,676	1,971	2,885	2,836	2,681	1,874	1,066	177
胃潰瘍	21,919	13	81	519	1,309	1,528	2,401	3,291	4,399	3,346	2,586	1,510	788	148
その他の胃良性疾患	66,839	62	300	1,770	4,037	4,488	6,280	7,702	11,332	10,773	9,861	6,407	3,309	518
異常なし	27,625	88	312	1,278	2,515	2,420	2,953	3,291	4,204	3,704	3,173	2,194	1,211	282

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表7 性・年齢別胃がん検診全国集計成績—女性—直接・間接・デジタル、地域・職域・個別検診、人間ドック合計（平成24年度）

	総数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	2,565,609	11,313	35,151	164,042	336,811	305,064	302,675	306,716	376,413	298,295	230,418	129,668	57,030	12,013
B 要精検者数	154,469	266	965	5,291	13,183	13,494	16,200	18,730	26,872	22,594	18,858	11,536	5,366	1,114
B/A %	6.02 %	2.35 %	2.75 %	3.23 %	3.91 %	4.42 %	5.35 %	6.11 %	7.14 %	7.57 %	8.18 %	8.90 %	9.41 %	9.27 %
C 精検受診者数	114,019	130	556	3,007	8,153	8,330	10,551	13,055	20,653	18,182	15,948	9,996	4,529	929
C/B %	73.81 %	48.87 %	57.62 %	56.83 %	61.84 %	61.73 %	65.13 %	69.70 %	76.86 %	80.47 %	84.57 %	86.65 %	84.40 %	83.39 %
D 胃癌	1,319	0	0	18	42	46	69	114	233	255	223	190	113	16
D/A %	0.051 %	0.000 %	0.000 %	0.011 %	0.012 %	0.015 %	0.023 %	0.037 %	0.062 %	0.085 %	0.097 %	0.147 %	0.198 %	0.133 %
非上皮性悪性腫瘍	68	0	0	1	4	0	6	9	15	11	13	5	3	1
胃腺腫(異型上皮)	297	0	0	0	6	7	7	27	54	45	58	54	36	3
胃ポリープ	25,630	33	180	1,090	2,850	2,602	2,567	2,674	4,007	3,513	3,060	2,002	913	139
胃潰瘍	7,508	4	12	91	303	524	798	1,085	1,465	1,193	1,029	622	307	75
その他の胃良性疾患	46,107	32	162	781	2,325	2,551	3,819	5,278	9,080	8,156	7,189	4,474	1,925	335
異常なし	23,625	48	167	822	2,007	1,924	2,372	2,722	4,052	3,498	3,076	1,861	828	248

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

図6 地域検診の年齢階級別受診者数（平成24年度）（直接・間接・デジタル、男女合計）

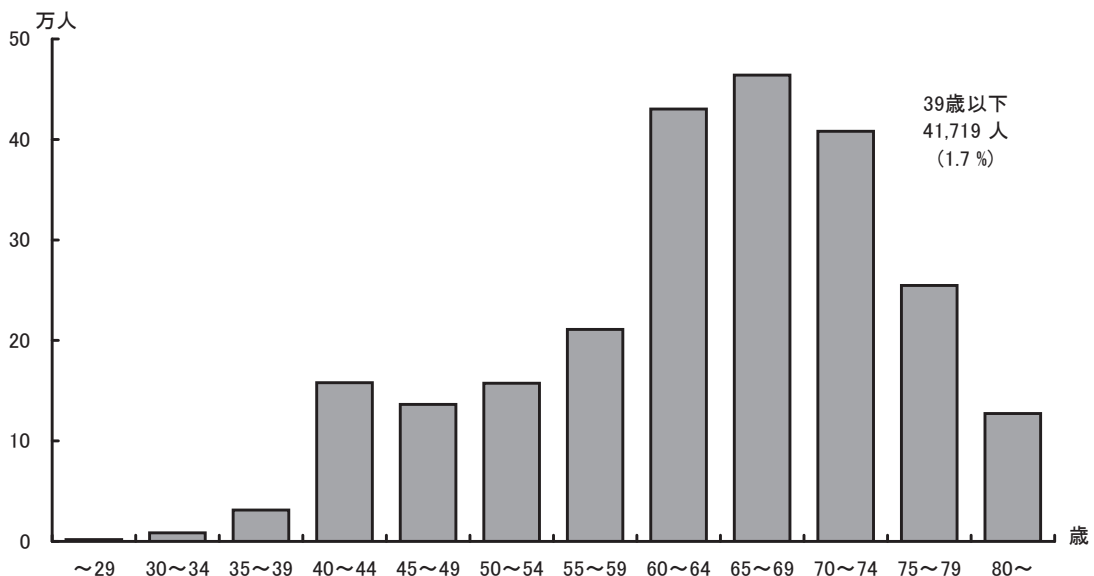


図7 職域検診の年齢階級別受診者数（平成24年度）（直接・間接・デジタル、男女合計）

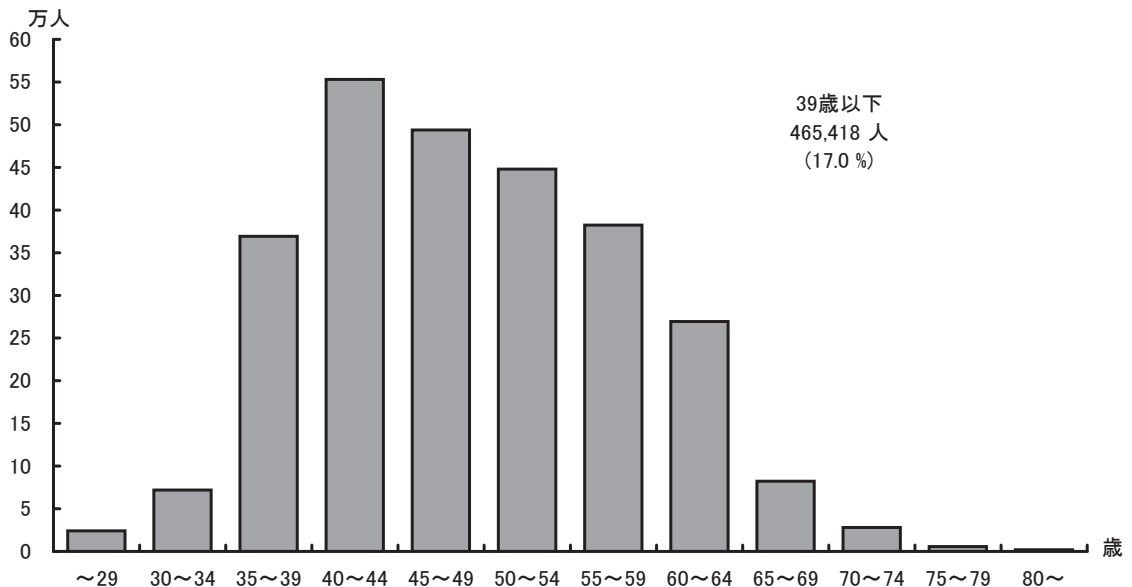


表8 発見疾患とその頻度（年次別推移）（男女計）

胃疾患	年 度	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
胃疾患	A	5,268	5,494	5,304	4,732	4,790	5,272	4,984	5,057
	B	7,264	7,704	7,623	6,938	6,976	8,046	7,663	7,831
	B/C	0.14	0.14	0.15	0.14	0.15	0.14	0.13	0.13
胃ポリープ	A	57,831	56,987	51,438	46,397	43,350	49,603	46,407	44,693
	B	79,745	79,914	73,926	68,031	63,137	75,707	71,351	69,206
	B/C	1.55	1.49	1.42	1.33	1.33	1.30	1.21	1.15
胃潰瘍	A	39,574	39,221	33,399	30,760	31,218	32,873	32,067	29,509
	B	54,570	55,001	48,001	45,103	45,468	50,172	49,304	45,694
	B/C	1.06	1.02	0.92	0.88	0.96	0.86	0.83	0.76
受診者総数		5,133,307	5,370,924	5,221,232	5,125,322	4,755,413	5,837,975	5,920,600	5,994,971

*性別、5歳階級別に集計可能な受診者数を母数とした

A:実数、B:要精検者が全員精検を受診した場合の推定数、C:受診者総数

表9 治療方法（平成24年度）

総 数	4,115
外 科 手 術	1,682
腹腔鏡下手術	894
内視鏡的治療	1,265
化 学 療 法	116
無 治 療	33
そ の 他	30
不 明	95

表10 手術の種類（平成24年度）

総 数	2,555
切 除 術	2,520
ポリープ摘除術	5
吻 合 術	4
単 開 腹	8
造 瘻	0
不 明	18

表11 根治度（平成24年度）

総 数	2,091
A	1,782
B	104
C	55
不 明	150

表12 癌病巣の数（平成24年度）

単 発	3,581
2 個	299
3 個	50
4個以上	30
不 明	69
合 計	4,029

表13 発見胃癌の占居部位Ⅰ（平成24年度）

部 位	病巣数	%
U	798	19.9
M	1,837	45.8
L	1,329	33.2
全 体	44	1.1
合 計	4,008	100.0

の予後調査をしているところは12.6%であった（図4-e～g）。

5. 地域・職域検診別および間接・直接がん検診別の成績

地域検診と職域検診に分けて検討すると、地域検診が2,560,982人、職域検診が3,425,765人で前者が42.8%を占めていた。地域検診と職域検診との精検受診率を比較してみると、各々79.4%と43.2%であり、両者に著しい差が認められ、職域検診の一次検診後の管理に依然として不備が感じられた。その結果、後述する職域検診での39歳以下の若年受診者の占める割合が多いこととあいまっ

表14 発見胃癌の占居部位Ⅱ（平成24年度）

部 位	病巣数	%
小 彎	1,534	38.7
大 彎	687	17.3
前 壁	682	17.2
後 壁	945	23.8
全 周	120	3.0
合 計	3,968	100.0

表15 発見胃癌の大きさ（平成24年度）

長径(cm)	病巣数	%
～1.0	471	12.8
1.1～2.0	971	26.4
2.1～5.0	1,715	46.6
5.1～	521	14.2
合 計	3,678	100.0

て、職域検診での胃癌発見率は0.030%と、地域検診の0.155%の5分の1であった（表3）。また間接がん検診について、地域、職域、人間ドック検診別に検討したものを表4に示した。

間接がん検診、直接がん検診、デジタルがん検診を比較すると、受診者数は間接がん検診が2,355,643人、直接がん検診が718,050人、デジタルがん検診が3,875,088人で、各々33.9%、10.3%、55.8%を占めた（表5）。要精検率は、各々7.3%、7.0%、6.5%と差は少なかったが、精検受診率は、各々65.7%、49.6%、59.6%と間接がん検診が高率であった。胃癌発見率は、各々0.091%、0.066%、0.073%と間接がん検診が高率であった。

6. 性・年齢階級別受診者数および疾患発見率

直接、間接、デジタル、地域、職域、個別、人間ドックがん検診を合計した性・年齢階級別の受診者数を図5に示した。男の分布は女に比べ若年者が多かった。胃癌発見率は男で0.111%、女で

表16 切除胃癌の深達度別頻度（平成24年度）

総数	M	SM	MP	SS	SE	SI
3,802 (100.0 %)	1,778 (46.8 %)	1,054 (27.7 %)	336 (8.8 %)	347 (9.1 %)	254 (6.7 %)	33 (0.9 %)
M + SM		MP + SS + SE + SI				
2,832 (74.5 %)		970 (25.5 %)				

表17 Stage分類（平成24年度）

Stage	例 数	%
I A	2,497	63.8
I B	381	9.8
II A	260	6.6
II B	143	3.6
III A	137	3.5
III B	119	3.0
III C	66	1.7
IV	123	3.1
不明	194	4.9
計	3,920	100.0

表18 肉眼分類（平成24年度）

肉眼分類	例 数	%
0型	2,908	72.8
1型	119	3.0
2型	440	11.0
3型	345	8.6
4型	107	2.7
5型	75	1.9
計	3,994	100.0

表19 0型（表在型）の亜分類（平成24年度）

肉眼分類	例 数	%
I	136	4.7
II a	584	20.1
II a+ II c	343	11.8
II b	53	1.8
II c	1,466	50.3
II c+ III	62	2.1
II c+ II a	92	3.2
III+ II c	15	0.5
III	19	0.7
その他の組み合わせ	113	3.9
不明	25	0.9
計	2,908	100.0

0.051%，男が女の2倍以上の発見率であった。胃ポリープは男が0.56%，女が1.00%で，逆に女の方が1.8倍発見率は高かった。胃潰瘍は男が0.65%，女が0.29%で，男が2.2倍であった（表6，7）。

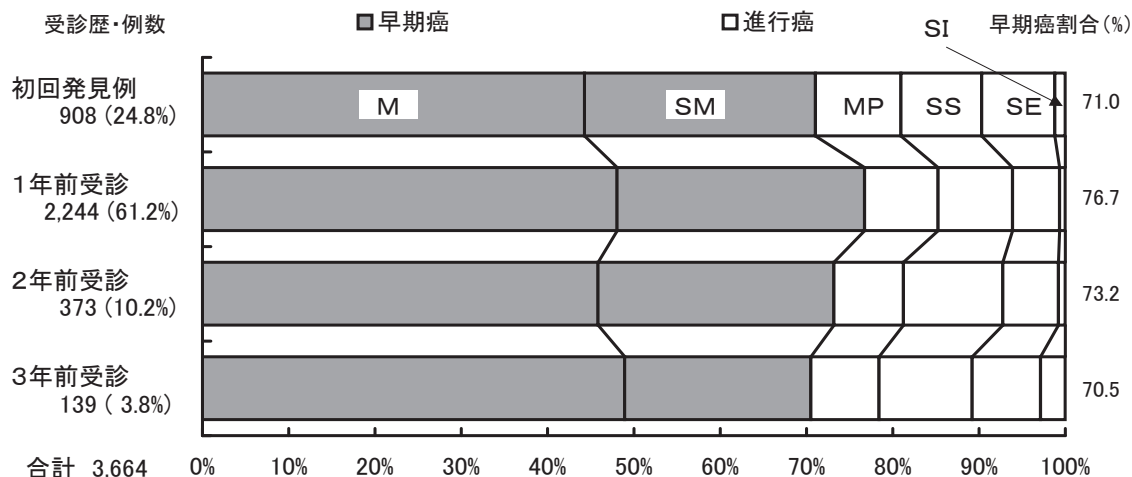
39歳以下の受診者は男女あわせて約62万人おり，これは全受診者数の10.5%を占めていた。これを地域と職域検診に分けてみると，地域検診では39歳以下は男女あわせて1.7%であった。一方，職域検診では39歳以下が17.0%と，若年層受診者の占める頻度は地域検診に比べ，10倍高かった（図6，7）。

7. 発見疾患の年次推移

表8は各胃疾患の発見率の年度別推移を表したものである。受診者総数（C）は，性別，5歳階

級別に各疾患の発見数と頻度が算出可能なものを分母として算出した。表のうち，Aは発見実数，Bは要精検者が全員精検を受診した場合の推定患者数で， B/C は推定発見率である。平成24年度の推定発見率は，胃癌0.13%，胃ポリープ1.15%，胃潰瘍0.76%であった。年度別の変化をみると胃

図8 発見胃癌例の検診受診歴と早期癌の頻度（平成24年度）

表20 内視鏡胃がん検診の全国集計成績
（平成24年度）

受診者総数	481,127 人
男	260,722 人 (54.2%)
女	220,405 人 (45.8%)
発見疾患と発見率	
胃癌	1,243 (0.26%)
（うち早期癌 908名）	(0.19%)
胃潰瘍	17,076 (3.55%)
胃ポリープ	76,183 (15.83%)

（年間500人以上実施し、集計可能な機関についての集計）

表21 大腸がん検診全国集計対象機関の区分
（平成24年度）

	機関数
I 群	248
II 群	34
計	282

表22 大腸がん検診の対象（重複回答）
（平成24年度）

地域	職域	個別	人間ドック	検診機関数
203 (72.0 %)	212 (75.2 %)	71 (25.2 %)	146 (51.8 %)	282

表23 大腸がん検診のScreeningの方法
（平成24年度）

(1) 検便法	164 (58.2 %)
(2) 検便法+問診	140 (49.6 %)
(3) 直接法	29 (10.3 %)
検診機関数	282

ポリープと胃潰瘍の発見率は減少していた。

8. 発見胃癌患者の追跡調査

1) 手術成績

集計個票が全国集計委員会に送られてきた発見胃癌の治療の種類をみると、外科手術は4,115例

中1,682例（40.9%）、腹腔鏡下手術は894例（21.7%）、内視鏡的治療は1,265例（30.7%）に施行されていた。腹腔鏡下手術や内視鏡的治療の頻度は年々増加していた（表9）。手術の種類では2,555例中2,520例（98.6%）に切除術が施行され、根治度Aの切除は85.2%を占めていた（表10, 11）。多発癌は4,029例中379例（9.4%）を占めていた（表12）。

2) 占居部位

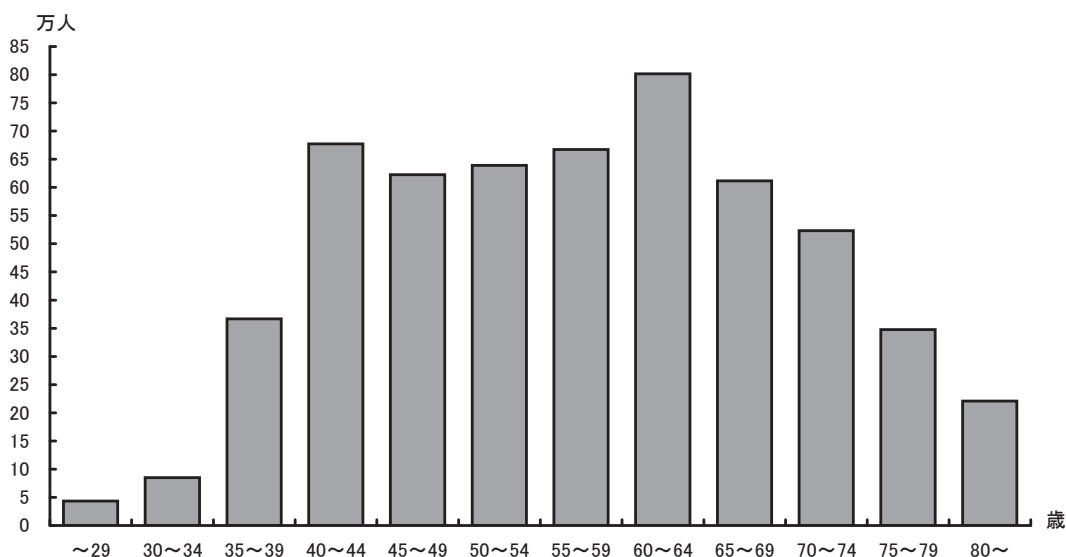
発見胃癌のUML区分でみた占居部位は、Uが19.9%、Mが45.8%、Lが33.2%であった（表

表24 大腸がん検診成績（男女計，平成24年度）

	地域	職域	個別	人間ドック	計
(1)受診者数	3,072,688	2,901,143	88,405	837,643	6,899,879
(2)要精検者数 (2)÷(1) (%)	203,794 (6.6 %)	140,717 (4.9 %)	6,433 (7.3 %)	43,862 (5.2 %)	394,806 (5.7 %)
(3)精検受診者数 (3)÷(2) (%)	144,911 (71.1 %)	43,820 (31.1 %)	4,390 (68.2 %)	20,200 (46.1 %)	213,321 (54.0 %)
(4)大腸癌患者数 (4)÷(1) (%)	6,861 (0.223 %)	1,114 (0.038 %)	196 (0.222 %)	550 (0.066 %)	8,721 (0.126 %)

図9 大腸がん検診受診者数の年齢階級別分布

(地域，職域，個別，人間ドック，男女計，平成24年度，総数5,606,377名)



13)。壁在性でみると小彎が38.7%で最も多く，次いで後壁が23.8%で，前年度とほぼ同様な傾向がみられた（表14）。

3) 大きさ

長径1cm以下の小胃癌が12.8%，1.1～2.0cmが26.4%で，あわせて39.2%であった（表15）。

4) 切除胃癌の深達度別割合

切除胃癌の深達度別頻度をみると，M癌が46.8%，SM癌が27.7%，あわせて74.5%であり，検診発見胃癌の約3／4は早期癌であった（表16）。

5) Stage分類

Stage I Aは63.8%と2／3を占め，Stage IVは3.1%であった（表17）。

6) 肉眼分類

0型（表在型）が72.8%と最も多く，そのうちⅡc型が50.3%と過半数を占めた。4型は2.7%であった（表18，19）。

7) 発見胃癌例の集検受診前歴

受診前歴の記載された胃癌3,664例について，集検受診歴区分でみると，初回発見例が全胃癌のうち24.8%を占め，1年前受診例，即ち2年連続受診で発見されたものが61.2%を占めた（図8）。

図10 大腸がん検診の要精検率および精検受診率
(地域、職域、個別、人間ドック、男女計、平成24年度)

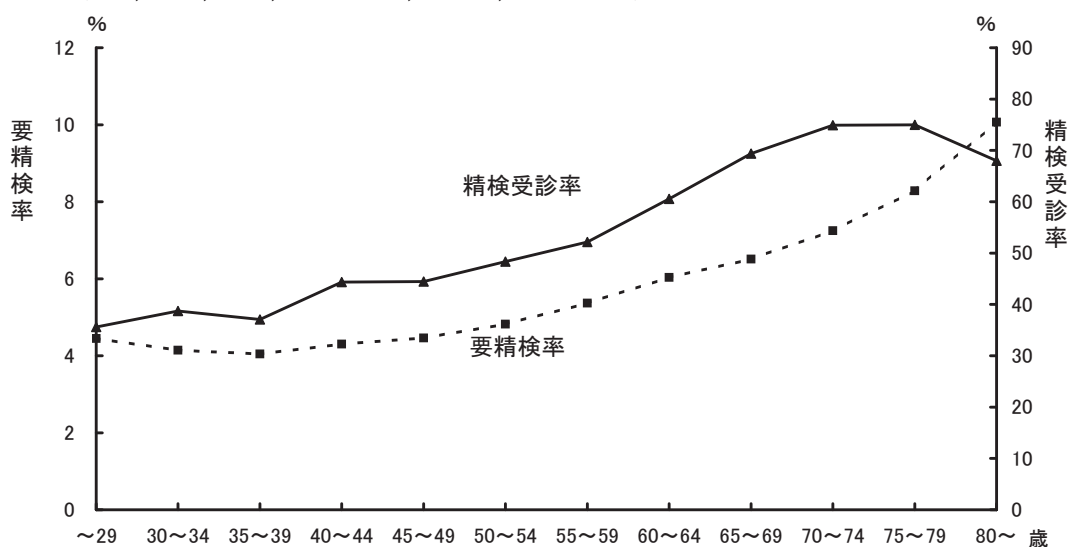
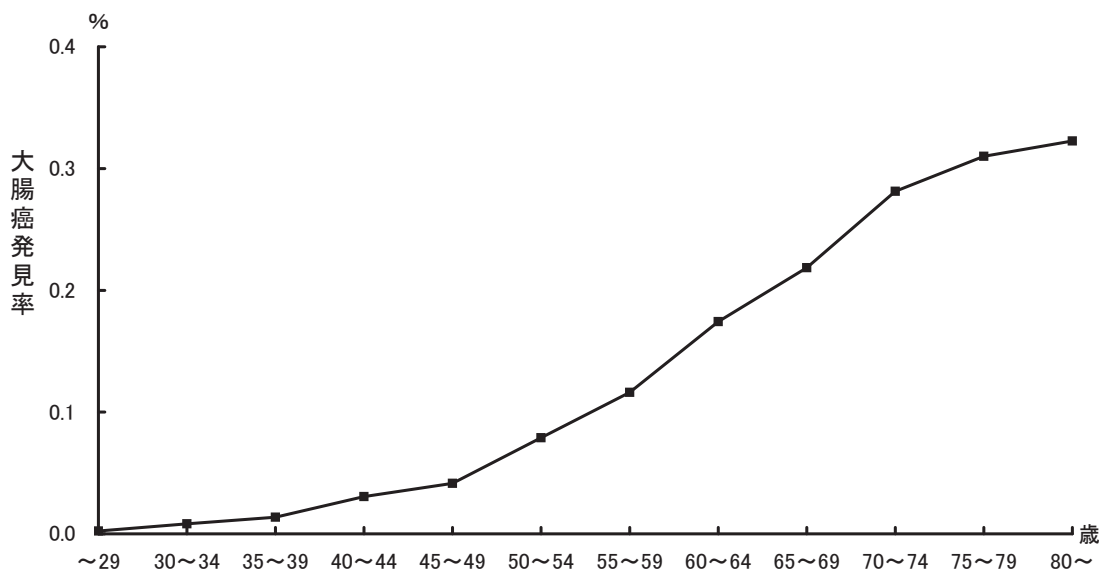


図11 大腸がん検診の大腸癌発見率
(地域、職域、個別、人間ドック、男女計、平成24年度)



各受診歴別に胃癌に占める早期胃癌の割合をみると、初回発見例が71.0%で、一年前、二年前、三年前の早期胃癌の割合は各々76.7%、73.2%、

70.5%であった。一年前に受診歴のある例では、受診歴のない例に対して、統計学的有意差をもって、早期癌を高率に認めた(図8)。

図12 大腸がん検診における大腸ポリープ（腺腫）および非腺腫性ポリープの発見率
（地域、職域、個別、人間ドック、男女計、平成24年度）

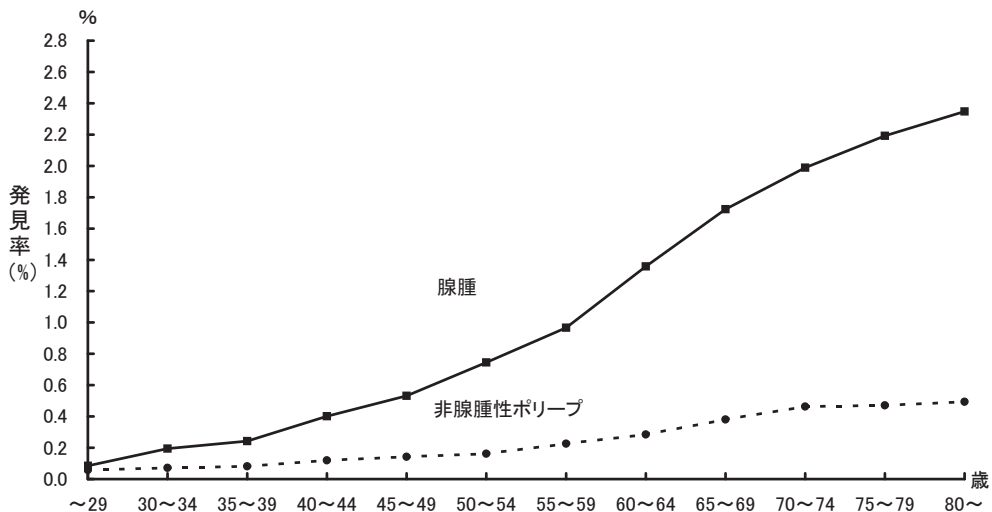


表25 大腸がん検診全国集計成績—男性—地域・職域・個別検診，人間ドック合計（平成24年度）

	総数	29以下	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	2,925,091	25,579	51,826	233,270	377,474	347,690	346,349	350,091	387,340	284,709	241,535	163,294	109,332	6,602
B 要精検者数	183,573	939	1,864	8,705	15,464	15,767	18,286	21,790	28,343	22,763	20,856	15,964	12,296	536
B/A %	6.28 %	3.67 %	3.60 %	3.73 %	4.10 %	4.53 %	5.28 %	6.22 %	7.32 %	8.00 %	8.63 %	9.78 %	11.25 %	8.12 %
C 精検受診者数	99,701	367	709	3,048	6,328	6,386	7,818	9,757	15,026	14,542	14,936	11,790	8,607	387
C/B %	54.31 %	39.08 %	38.04 %	35.01 %	40.92 %	40.50 %	42.75 %	44.78 %	53.01 %	63.88 %	71.61 %	73.85 %	70.00 %	72.20 %
D 大腸癌	4,634	0	4	36	113	132	268	459	839	816	886	646	417	18
D/A %	0.158 %	0.000 %	0.008 %	0.015 %	0.030 %	0.038 %	0.077 %	0.131 %	0.217 %	0.287 %	0.367 %	0.396 %	0.381 %	0.273 %
カルチノイド	42	0	0	1	4	3	4	8	7	5	7	1	2	0
腺腫性ポリープ	40,268	27	118	609	1,746	2,216	3,196	4,252	6,841	6,576	6,405	4,798	3,300	184
非腺腫性ポリープ	8,502	17	41	191	466	548	626	865	1,329	1,328	1,398	997	658	38
潰瘍性大腸炎	935	10	30	104	156	135	96	90	104	70	50	56	32	2
クローン氏病	44	0	3	5	11	6	4	4	5	4	1	0	1	0
大腸憩室	6,641	17	28	154	312	382	509	648	959	990	986	897	721	38
その他良性疾患	9,153	64	102	362	765	672	668	725	1,145	1,205	1,427	1,142	866	10
異常なし	23,480	202	328	1,364	2,345	1,893	2,002	2,141	2,937	2,698	2,923	2,532	2,043	72

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

9. 内視鏡胃がん検診の全国集計成績

一次スクリーニングとして内視鏡を用いた、いわゆる内視鏡胃がん検診は、X線撮影法による胃がん検診のような受診者の性年齢区分をした詳細ながん検診成績の回答は求めず、前年度と同様簡単な集計にとどめた。対象も前年度と同様に、年間500人以上の内視鏡胃がん検診を施行した機関のみに限定した。このような条件で集計すると、内視鏡胃がん検診の受診者総数は481,127人、発見胃癌1,243例（発見率0.26%）、うち早期癌は908例（73.0%）を占めた。胃癌発見率は高率であった（表

20）。

II 大腸がん検診全国集計

平成24年度に実施された大腸がん検診の全国集計調査に回答を寄せた機関は282カ所で、検診の統計をよく行っているI群の割合は87.9%であった（表21）。

1. 大腸検診の受診対象

大腸検診の受診対象は表22に示すように重複回答であるが、地域検診は72.0%、職域検診は75.2%、個別検診は25.2%、人間ドックは51.8%で行われ

表26 大腸がん検診全国集計成績—女性—地域・職域・個別検診，人間ドック合計（平成24年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	2,694,286	17,794	33,230	133,320	299,831	274,870	292,648	317,305	414,281	326,822	281,761	184,412	111,614	6,398
B 要精検者数	138,372	991	1,663	6,129	13,695	12,014	12,530	14,020	20,023	17,052	17,079	12,844	9,944	388
B/A %	5.14 %	5.57 %	5.00 %	4.60 %	4.57 %	4.37 %	4.28 %	4.42 %	4.83 %	5.22 %	6.06 %	6.96 %	8.91 %	6.06 %
C 精検受診者数	89,446	320	657	2,451	6,800	5,966	7,078	8,922	14,258	13,083	13,477	9,811	6,514	309
C/B %	64.64 %	32.29 %	39.51 %	39.99 %	48.19 %	49.66 %	56.49 %	63.64 %	71.21 %	76.72 %	78.91 %	76.39 %	65.51 %	79.64 %
D 大腸癌	3,199	1	3	14	94	126	236	316	558	521	586	432	296	16
D/A %	0.119 %	0.006 %	0.009 %	0.011 %	0.031 %	0.046 %	0.081 %	0.100 %	0.135 %	0.159 %	0.208 %	0.234 %	0.265 %	0.250 %
カルチノイド	36	0	0	1	6	1	6	4	7	1	7	1	2	0
腺腫性ポリープ	22,984	10	48	280	968	1,095	1,561	2,202	4,043	3,963	4,001	2,824	1,887	102
非腺腫性ポリープ	5,957	8	20	108	344	342	406	643	953	1,001	1,028	641	432	31
潰瘍性大腸炎	695	11	22	41	107	72	68	74	96	66	65	48	24	1
クローン氏病	22	0	2	2	4	1	2	0	4	2	0	3	1	1
大腸憩室	5,952	5	15	51	231	260	357	549	958	940	1,024	869	660	33
その他良性疾病	10,000	40	89	333	879	732	814	922	1,483	1,411	1,473	1,112	690	22
異常なし	34,705	200	389	1,405	3,455	2,893	3,171	3,617	5,299	4,397	4,513	3,253	2,029	84

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表27 地域大腸がん検診全国集計成績—男性—（平成24年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	1,078,776	1,391	2,943	6,915	53,729	47,182	56,916	74,668	170,806	201,286	204,117	150,628	102,999	5,196
B 要精検者数	87,985	52	121	295	2,834	2,592	3,424	5,109	12,881	16,172	17,663	14,810	11,610	422
B/A %	8.16 %	3.74 %	4.11 %	4.27 %	5.27 %	5.49 %	6.02 %	6.84 %	7.54 %	8.03 %	8.65 %	9.83 %	11.27 %	8.12 %
C 精検受診者数	61,845	31	75	172	1,645	1,463	2,050	3,147	8,770	11,551	13,251	11,116	8,222	352
C/B %	70.29 %	59.62 %	61.98 %	58.31 %	58.05 %	56.44 %	59.87 %	61.60 %	68.08 %	71.43 %	75.02 %	75.06 %	70.82 %	83.41 %
D 大腸癌	3,487	0	0	3	39	55	95	197	557	692	811	621	401	16
D/A %	0.323 %	0.000 %	0.000 %	0.043 %	0.073 %	0.117 %	0.167 %	0.264 %	0.326 %	0.344 %	0.397 %	0.412 %	0.389 %	0.308 %
カルチノイド	18	0	0	0	1	0	0	2	3	3	6	1	2	0
腺腫性ポリープ	25,698	1	15	38	412	437	789	1,308	3,909	5,238	5,713	4,515	3,148	175
非腺腫性ポリープ	5,342	1	9	12	126	134	155	296	782	1,020	1,210	944	625	28
潰瘍性大腸炎	345	0	1	2	32	22	22	21	57	54	46	54	32	2
クローン氏病	9	0	0	1	2	0	0	0	2	3	0	0	1	0
大腸憩室	4,200	0	1	5	70	95	105	181	552	763	873	832	687	36
その他良性疾病	6,000	11	16	15	238	193	230	281	777	1,019	1,299	1,086	829	6
異常なし	13,181	16	27	76	621	430	549	696	1,682	2,127	2,547	2,388	1,958	64

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表28 地域大腸がん検診全国集計成績—女性—（平成24年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	1,648,271	1,768	4,424	12,808	118,355	100,252	120,757	164,024	303,387	278,845	256,919	175,148	106,133	5,451
B 要精検者数	92,550	136	253	640	6,300	4,989	5,528	7,656	14,888	14,570	15,587	12,196	9,459	348
B/A %	5.61 %	7.69 %	5.72 %	5.00 %	5.32 %	4.98 %	4.58 %	4.67 %	4.91 %	5.23 %	6.07 %	6.96 %	8.91 %	6.38 %
C 精検受診者数	69,048	67	153	397	3,818	3,203	3,859	5,768	11,596	11,683	12,550	9,389	6,274	291
C/B %	74.61 %	49.26 %	60.47 %	62.03 %	60.60 %	64.20 %	69.81 %	75.34 %	77.89 %	80.19 %	80.52 %	76.98 %	66.33 %	83.62 %
D 大腸癌	2,719	0	0	4	64	74	146	227	469	471	554	410	286	14
D/A %	0.165 %	0.000 %	0.000 %	0.031 %	0.054 %	0.074 %	0.121 %	0.138 %	0.155 %	0.169 %	0.216 %	0.234 %	0.269 %	0.257 %
カルチノイド	26	0	0	0	6	1	5	2	4	0	5	1	2	0
腺腫性ポリープ	18,487	4	13	40	548	560	836	1,363	3,256	3,538	3,737	2,682	1,811	99
非腺腫性ポリープ	4,732	3	4	27	200	195	204	418	783	884	956	621	415	22
潰瘍性大腸炎	473	2	5	7	61	39	36	55	73	61	61	48	24	1
クローン氏病	10	0	0	0	3	0	0	0	2	1	0	2	1	1
大腸憩室	4,842	1	4	7	126	127	199	359	754	830	945	829	631	30
その他良性疾病	7,840	8	26	55	552	440	464	641	1,250	1,267	1,379	1,072	665	21
異常なし	25,807	40	85	231	1,988	1,543	1,728	2,357	4,336	3,939	4,183	3,128	1,965	84

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

ていた。

2. 大腸検診の実施方法

大腸検診のスクリーニングの方法は、検便法だけによるものが58.2%，検便法に問診を加えた方法が49.6%であった（表23）。

3. 大腸検診の成績

平成24年度に行われた全国の男女合計の受診者総数は6,899,879人で前年度に比べ約49万人（7.6%）増加していた。大腸癌発見数は8,721例（0.126%）であった。対象区分別にみると大腸癌の発見率は地域検診0.223%，職域検診0.038%，個別検

表29 検診発見大腸癌の受診前歴
(男女計, 平成24年度)

初回受診者	2,353 名	(37.6 %)
1年前 "	2,745 名	(43.9 %)
2年前 "	513 名	(8.2 %)
3年前 "	249 名	(4.0 %)
不 明	393 名	(6.3 %)
計	6,253 名	(100.0 %)

表30 過去3年間の, 検診での便潜血検査
受診回数 (男女計, 平成24年度)

0回	2,007 名	(33.2 %)
1回	855 名	(14.2 %)
2回	716 名	(11.9 %)
3回	1,025 名	(17.0 %)
4回以上	122 名	(2.0 %)
不明	1,310 名	(21.7 %)
計	6,035 名	(100.0 %)

表31 大腸検査受診歴
(男女計, 平成24年度)

なし	2,006 名	(34.0 %)
0～1年前受診	178 名	(3.0 %)
1～2年前受診	83 名	(1.4 %)
2～3年前受診	79 名	(1.3 %)
不明	3,558 名	(60.3 %)
計	5,904 名	(100.0 %)

診0.222%, 人間ドック0.066%であった(表24)。

地域, 職域, 個別, 人間ドック検診のうち, 年齢が5歳階級別に報告された男女合計5,606,377人

表32 大腸がんの既往歴
(男女計, 平成24年度)

なし	3,894 名	(65.3 %)
あり	52 名	(0.9 %)
不明	2,015 名	(33.8 %)
計	5,961 名	(100.0 %)

表33 大腸ポリープの既往歴
(男女計, 平成24年度)

なし	3,255 名	(54.9 %)
あり	399 名	(6.7 %)
不明	2,282 名	(38.4 %)
計	5,936 名	(100.0 %)

表34 大腸ポリープ切除の既往歴
(男女計, 平成24年度)

なし	3,243 名	(55.5 %)
あり	240 名	(4.1 %)
不明	2,358 名	(40.4 %)
計	5,841 名	(100.0 %)

について年齢別頻度を検討すると, 受診者数の年齢分布は50歳代と60歳代があわせて48.5%と半数を占めた。39歳以下は8.8%, また70歳以上は19.5%を占めた(図9)。要精検率をみると, ほぼ加齢に伴って上昇していた。精検受診率は, 胃がん検診に比較して低い傾向がみられた(図10)。

大腸癌発見率は加齢とともに上昇していた。とくに, 70歳代の発見率は, 全年齢層の平均の2.1倍であった(図11)。大腸腺腫の発見率は1.1%で, これは大腸癌の8.1倍の頻度であり, 発見率は加齢とともに上昇していた。非腺腫性ポリープの発見率は0.26%で, 大腸癌の1.8倍の発見率であった(図12)。

表35 治療の方法
(男女計, 平成24年度)

外科手術	1,357	(21.8 %)
腹腔鏡下手術	1,785	(28.7 %)
内視鏡的ポリペクトミー	1,048	(16.9 %)
内視鏡的粘膜切除 (含: 粘膜下層剥離術)	1,847	(29.7 %)
無治療	19	(0.3 %)
その他	61	(1.0 %)
不 明	100	(1.6 %)
計	6,217	(100.0 %)

表36 手術の種類
(男女計, 平成24年度)

結腸切除	2,027	(65.3 %)
直腸切除	768	(24.7 %)
直腸切断 (人工肛門造設)	96	(3.1 %)
その他	68	(2.2 %)
不 明	146	(4.7 %)
計	3,105	(100.0 %)

表37 癌病巣の数
(男女計, 平成24年度)

単発	5,699	(92.4 %)
2個	261	(4.2 %)
3個	52	(0.8 %)
4個以上	35	(0.6 %)
不明	125	(2.0 %)
計	6,172	(100.0 %)

性・年齢階級別の大腸がん検診全国集計成績を表25, 26に示した。受診者年齢層のピークは男女とも60歳代前半であった。大腸癌発見率は男0.158%, 女0.119%であった。

地域住民を対象とした大腸がん検診の全国集計成績を, 表27, 28に示した。男の受診者年齢層の

表38 癌病巣の部位
(男女計, 平成24年度)

部 位	例 数
肛 門 管 (P)	17 (0.3 %)
直 腸 (R)	1,328 (21.7 %)
直腸S状部 (RS)	596 (9.8 %)
S 状 結 腸 (S)	1,915 (31.3 %)
下 行 結 腸 (D)	300 (4.9 %)
横 行 結 腸 (T)	591 (9.7 %)
上 行 結 腸 (A)	964 (15.8 %)
盲 腸 (C)	391 (6.4 %)
虫 垂 (V)	4 (0.1 %)
計	6,106 (100.0 %)

表39 肉眼分類
(男女計, 平成24年度)

0型	3,753	(62.7 %)
1型	354	(5.9 %)
2型	1,706	(28.5 %)
3型	140	(2.3 %)
4型	10	(0.2 %)
5型	22	(0.4 %)
計	5,985	(100.0 %)

ピークは70歳代前半, 女は60歳代前半であった。大腸癌発見率は男0.323%, 女0.165%と高率であった。

4. 発見大腸癌の追跡調査成績

1) 集計個票の送られてきたがん検診発見大腸癌のうち, 37.6%は初回受診者, 43.9%は1年前受診者であった(表29)。

過去3年間において, 検診で便潜血検査を受けた回数は1回が14.2%, 2回以上が30.9%(表30), 大腸検査受診歴のあるものが5.7%(表31)であった。大腸癌の既往は0.9%, 大腸ポリープの既往は6.7%, 大腸ポリープ切除の既往は4.1%

表40 O型（表在型）の肉眼分類
（男女計，平成24年度）

I p	861	(22.9 %)
I sp	1,162	(30.9 %)
I s	520	(13.9 %)
II a	628	(16.7 %)
II a+II c	262	(7.0 %)
II b	11	(0.3 %)
II c	96	(2.6 %)
その他	143	(3.8 %)
不 明	70	(1.9 %)
計	3,753	(100.0 %)

表41 大腸癌の大きさ（長径）
（男女計，平成24年度）

大きさ(cm)	病巣数	
～1.0	1,262	(22.5 %)
1.1～2.0	1,986	(35.4 %)
2.1～5.0	1,996	(35.5 %)
5.1～	369	(6.6 %)
計	5,613	(100.0 %)

表42 大腸癌の環周度
（男女計，平成24年度）

1/3 以下	3,171	(71.2 %)
1/2 以下	609	(13.7 %)
3/4 以下	277	(6.2 %)
3/4 以上	176	(4.0 %)
全 周	216	(4.9 %)
計	4,449	(100.0 %)

表43 大腸癌のStage分類
（男女計，平成24年度）

Stage O	2,001	(32.6 %)
Stage I	1,456	(23.7 %)
Stage II	654	(10.6 %)
Stage III a	593	(9.6 %)
Stage III b	162	(2.6 %)
Stage IV	125	(2.0 %)
不 明	1,166	(18.9 %)
計	6,157	(100.0 %)

表44 大腸癌の深達度
（男女計，平成24年度）

M	2,691	(43.9 %)
SM	1,219	(19.9 %)
MP	672	(10.9 %)
SS (A)	1,080	(17.6 %)
SE	259	(4.2 %)
SI (A I)	51	(0.8 %)
不明	165	(2.7 %)
計	6,137	(100.0 %)

表45 大腸癌のDukes分類
（男女計，平成24年度）

Dukes A	1,456	(42.0 %)
Dukes B	654	(18.9 %)
Dukes C	755	(21.8 %)
Dukes D	125	(3.6 %)
不 明	476	(13.7 %)
計	3,466	(100.0 %)

に認められた（表32，33，34）。

2）治療の方法

外科手術は1,357例（21.8%），腹腔鏡下手術は

1,785例（28.7%），内視鏡的ポリペクトミーは1,048例（16.9%），内視鏡的粘膜切除（含粘膜下層剥離術）は1,847例（29.7%）に行われた（表35）。

表46 リンパ節転移の有無
(男女計, 平成24年度)

N0	4,272	(73.4 %)
N1	656	(11.3 %)
N2	190	(3.3 %)
N3	40	(0.7 %)
不明	657	(11.3 %)
計	5,815	(100.0 %)

表47 遠隔転移の有無
(男女計, 平成24年度)

なし	4,987	(87.0 %)
あり	143	(2.5 %)
不明	602	(10.5 %)
計	5,732	(100.0 %)

表48 大腸癌の組織型分類
(男女計, 平成24年度)

乳頭腺癌	(pap)	173	(2.9 %)
高分化管状腺癌	(tub1)	3,479	(58.9 %)
中分化管状腺癌	(tub2)	1,591	(27.0 %)
低分化腺癌	(por)	63	(1.1 %)
粘液癌	(muc)	71	(1.2 %)
印環細胞癌	(sig)	7	(0.1 %)
その他		145	(2.5 %)
不 明		374	(6.3 %)
計		5,903	(100.0 %)

3) 手術の種類

手術のうち、結腸切除術が2,027例 (65.3%), 直腸切除術が768例 (24.7%), 人工肛門を造設した直腸切断術は96例 (3.1%) であった (表36)。

4) 癌病巣の数

単発は5,699例 (92.4%), 多発は348例 (5.6%) であった (表37)。

5) 占居部位

発見大腸癌の占居部位は6,106例中、最も多い

表49 食道がん検診の全国集計成績
(平成24年度)

受診者総数	1,028,518 人
男	627,693 人 (61.0 %)
女	400,825 人 (39.0 %)
発見疾患と発見率	
食道癌	161 名 (0.02 %)
食道ポリープ	1,923 名 (0.19 %)
食道炎	28,557 名 (2.78 %)
バレット潰瘍	1,177 名 (0.11 %)
静脈瘤	1,182 名 (0.11 %)
その他の疾患	61,288 名 (5.96 %)

表50 肝胆膵検診の全国集計成績 (平成24年度)

受診者総数	1,244,152 人
男	688,652 人 (55.4 %)
女	555,500 人 (44.6 %)
発見疾患と発見率	
肝癌(原発性)	111 名 (0.009 %)
肝癌(転移性)	46 名 (0.004 %)
肝硬変症	386 名 (0.03 %)
脂肪肝	229,192 名 (18.4 %)
肝嚢胞	173,232 名 (13.9 %)
胆嚢癌	47 名 (0.004 %)
胆嚢ポリープ	148,549 名 (11.9 %)
胆石症	43,100 名 (3.5 %)
膵癌	87 名 (0.007 %)
膵石症	474 名 (0.038 %)
膵嚢胞	7,620 名 (0.61 %)
腎癌	171 名 (0.014 %)

のがS状結腸で1,915例 (31.3%), ついで直腸の1,328例 (21.7%) であり (表38), 両者で過半数を占めた。

6) 大腸癌の肉眼分類

0型が3,753例 (62.7%) と最も多くみられた。そのうちI s p型が1,162例 (30.9%) で、IIc型は96例 (2.6%) のみであった。また2型が1,706例 (28.5%) と多く、4型は10例 (0.2%) のみであった (表39, 40)。

7) 大きさと環周度

直径1.0cm以下のもの1,262例 (22.5%), 1.1 ~ 2.0cmが1,986例 (35.4%) と2cm以下が過半数を占めた (表41)。環周度は1 / 3以下が3,171例 (71.2

%)で約2/3を占め、全周性が216例(4.9%)に認められた(表42)。

8) Stage分類

Stage 0とStage Iで3,457例(56.3%)と約1/2を占めた。Stage IVは125例(2.0%)であった(表43)。

9) 深達度分類

Mは2,691例(43.9%), SMは1,219例(19.9%)であり、合計で63.8%と早期癌が全体の約2/3を占めた。進行癌を深達度別にみると、MP672例(10.9%), SS(A) 1,080例(17.6%), SE259例(4.2%), SI(AI) 51例(0.8%)であった(表44)。

10) Dukes分類

Dukes Aは1,456例(42.0%)であった(表45)。

11) 転移の有無

リンパ節転移ありは5,815例中886例(15.3%)であった。遠隔転移ありは5,732例中143例(2.5%)であった(表46, 47)。

12) 組織型分類

病理組織検査を行った5,903例中、高分化管状腺癌が3,479例(58.9%)で最も多く、ついで、中分化管状腺癌が1,591例(27.0%)であった(表48)。

Ⅲ 食道がん検診および肝胆膵検診全国集計

1. 食道がん検診

食道がん検診の受診者総数は1,028,518人であっ

た。また、発見食道癌は161例(0.02%), 食道ポリープ1,923例(0.19%), 食道炎28,557例(2.78%)であった(表49)。

2. 肝胆膵検診

肝胆膵検診の受診者総数は1,244,152人であった。発見疾患は、脂肪肝18.4%, 肝嚢胞13.9%, 胆嚢ポリープ11.9%, 胆石症3.5%であり、少数例ではあるが肝硬変症386例(0.03%), 原発性肝癌111例(0.009%), 転移性肝癌46例(0.004%), 胆嚢癌47例(0.004%), 膵癌87例(0.007%), 腎癌171例(0.014%)が発見された(表50)。

Ⅳ まとめ

平成24年度の消化器がん検診全国集計について要約すると以下ようになる。

(1) 胃がん検診については、受診者総数が6,948,781人で、前年度比+1.6%, 約11万人の増加、発見胃癌は5,416例(発見率0.078%)であった。地域検診は、全体の42.8%の約256万人であった。

(2) 大腸がん検診は全国で6,899,879人、前年度比+7.6%, 約49万人の増加、発見大腸癌8,721例(発見率0.126%)であった。

なお、アンケートの回答をおよせいただいた全国の検診機関、および学会の役職員や事務局の方々、各県の全国集計協力委員、認定医の先生方の絶大な協力に対して厚く御礼申し上げます。

表51

胃がん検診

		A 受診者数	B 要 精検者数	C 精検 受診者数	D 胃癌 発見数	E D票 回収数	B / A 要 精検率	C / B 精検 受診率	D / A 胃癌 発見率	D / B 適中度	E / D D票 回収率
		C I 票 間接、直接、デジタル撮影の合計				X線造影					
全 国		6,948,781	474,412	288,268	5,416	4,187	6.83	60.8	0.078	1.14	77.3
支 部 別	北海道	376,541	21,170	14,858	360	345	5.62	70.2	0.096	1.70	95.8
	東 北	1,041,274	80,648	59,209	1,142	1,086	7.75	73.4	0.110	1.42	95.1
	関東甲信越	1,859,248	134,343	76,991	1,507	963	7.23	57.3	0.081	1.12	63.9
	東海北陸	1,129,204	81,826	41,593	614	450	7.25	50.8	0.054	0.75	73.3
	近 畿	971,007	60,554	29,571	525	387	6.24	48.8	0.054	0.87	73.7
	中国四国	558,078	33,624	22,925	560	384	6.02	68.2	0.100	1.67	68.6
	九 州	1,013,429	62,247	43,121	708	572	6.14	69.3	0.070	1.14	80.8
北海道	北海道	376,541	21,170	14,858	360	345	5.62	70.2	0.096	1.70	95.8
東 北	青 森	167,111	13,062	9,008	132	127	7.82	69.0	0.079	1.01	96.2
	岩 手	194,853	12,270	9,516	202	182	6.30	77.6	0.104	1.65	90.1
	秋 田	83,515	8,507	5,972	89	82	10.19	70.2	0.107	1.05	92.1
	宮 城	245,223	17,304	12,274	360	354	7.06	70.9	0.147	2.08	98.3
	山 形	226,841	19,488	14,635	220	204	8.59	75.1	0.097	1.13	92.7
	福 島	123,731	10,017	7,804	139	137	8.10	77.9	0.112	1.39	98.6
関 東 甲 信 越	茨 城	166,248	15,667	11,366	189	164	9.42	72.5	0.114	1.21	86.8
	群 馬	101,432	9,148	5,076	100	81	9.02	55.5	0.099	1.09	81.0
	栃 木	79,871	6,980	5,121	79	78	8.74	73.4	0.099	1.13	98.7
	埼 玉	112,333	5,875	3,588	97	87	5.23	61.1	0.086	1.65	89.7
	千 葉	270,911	25,034	15,506	281	124	9.24	61.9	0.104	1.12	44.1
	東 京	283,682	13,663	5,613	114	92	4.82	41.1	0.040	0.83	80.7
	神奈川	369,624	27,205	7,831	140	25	7.36	28.8	0.038	0.51	17.9
	山 梨	60,153	4,067	2,885	49	49	6.76	70.9	0.081	1.20	100.0
	長 野	92,314	8,863	6,544	68	12	9.60	73.8	0.074	0.77	17.6
	新 潟	322,680	17,841	13,461	390	251	5.53	75.4	0.121	2.19	64.4
東 海 北 陸	富 山	113,472	7,177	4,860	105	70	6.32	67.7	0.093	1.46	66.7
	石 川	66,821	6,770	5,294	86	82	10.13	78.2	0.129	1.27	95.3
	福 井	53,350	3,530	2,182	55	42	6.62	61.8	0.103	1.56	76.4
	静 岡	244,814	14,777	8,556	127	105	6.04	57.9	0.052	0.86	82.7
	愛 知	324,217	27,450	10,592	91	38	8.47	38.6	0.028	0.33	41.8
	三 重	129,099	6,309	2,635	46	33	4.89	41.8	0.036	0.73	71.7
	岐 阜	197,431	15,813	7,474	104	80	8.01	47.3	0.053	0.66	76.9

胃がん検診		A 受診者数	B 要 精検者数	C 精検 受診者数	D 胃癌 発見数	E D票 回収数	B/A 要 精検率	C/B 精検 受診率	D/A 胃癌 発見率	D/B 適中度	E/D D票 回収率
		C I 票	間接、直接、デジタル撮影の合計			X線造影					
近畿	滋賀	77,938	4,916	2,899	27	27	6.31	59.0	0.035	0.55	100.0
	奈良	29,521	1,162	671	32	19	3.94	57.7	0.108	2.75	59.4
	京都	189,253	19,101	4,396	64	18	10.09	23.0	0.034	0.34	28.1
	大阪	408,916	20,672	11,435	186	134	5.06	55.3	0.045	0.90	72.0
	和歌山	33,977	2,060	1,165	11	11	6.06	56.6	0.032	0.53	100.0
	兵庫	231,402	12,643	9,005	205	178	5.46	71.2	0.089	1.62	86.8
中国四国	鳥取	30,113	2,435	1,673	42	25	8.09	68.7	0.139	1.72	59.5
	島根	43,730	3,024	1,898	50	41	6.92	62.8	0.114	1.65	82.0
	岡山	84,868	4,140	2,719	51	10	4.88	65.7	0.060	1.23	19.6
	広島	100,325	5,923	3,496	78	31	5.90	59.0	0.078	1.32	39.7
	山口	64,305	5,434	2,840	64	39	8.45	52.3	0.100	1.18	60.9
	香川	29,159	2,032	1,928	58	58	6.97	94.9	0.199	2.85	100.0
	徳島	25,018	1,854	1,459	29	25	7.41	78.7	0.116	1.56	86.2
	愛媛	81,586	5,461	4,396	103	82	6.69	80.5	0.126	1.89	79.6
	高知	98,974	3,321	2,516	85	73	3.36	75.8	0.086	2.56	85.9
九州	福岡	445,577	25,299	14,690	292	219	5.68	58.1	0.066	1.15	75.0
	佐賀	32,505	4,077	3,389	60	60	12.54	83.1	0.185	1.47	100.0
	長崎	36,191	3,037	2,365	33	27	8.39	77.9	0.091	1.09	81.8
	熊本	131,278	5,983	4,440	79	79	4.56	74.2	0.060	1.32	100.0
	大分	100,475	5,145	3,986	59	30	5.12	77.5	0.059	1.15	50.8
	宮崎	57,560	3,565	2,793	39	30	6.19	78.3	0.068	1.09	76.9
	鹿児島	126,475	11,215	9,535	127	118	8.87	85.0	0.100	1.13	92.9
	沖縄	83,368	3,926	1,923	19	9	4.71	49.0	0.023	0.48	47.4

大腸がん検診		A 受診者数	B 要 精検者数	C 精検 受診者数	D 大腸癌 発見数	E D票 回収数	B/A 要 精検率	C/B 精検 受診率	D/A 大腸癌 発見率	D/B 適中度	E/D D票 回収率
		C I 票 検便法				検便法					
全 国		6,900,548	395,215	213,503	8,718	6,408	5.73	54.0	0.126	2.21	73.5
支 部 別	北海道	321,544	22,245	13,666	554	518	6.92	61.4	0.172	2.49	93.5
	東 北	1,113,500	60,353	38,845	1,520	1,471	5.42	64.4	0.137	2.52	96.8
	関東甲信越	1,783,799	107,259	52,564	2,451	972	6.01	49.0	0.137	2.29	39.7
	東海北陸	969,393	53,987	22,938	872	716	5.57	42.5	0.090	1.62	82.1
	近 畿	943,027	44,566	20,935	1,019	904	4.73	47.0	0.108	2.29	88.7
	中国四国	545,868	32,388	20,536	850	588	5.93	63.4	0.156	2.62	69.2
	九 州	1,223,417	74,417	44,019	1,452	1,239	6.08	59.2	0.119	1.95	85.3
北海道	北海道	321,544	22,245	13,666	554	518	6.92	61.4	0.172	2.49	93.5
東 北	青 森	187,826	8,654	4,423	170	160	4.61	51.1	0.091	1.96	94.1
	岩 手	221,664	11,367	7,963	375	375	5.13	70.1	0.169	3.30	100.0
	秋 田	108,631	6,770	4,510	179	170	6.23	66.6	0.165	2.64	95.0
	宮 城	173,133	8,004	4,396	228	202	4.62	54.9	0.132	2.85	88.6
	山 形	262,107	14,171	9,564	300	300	5.41	67.5	0.114	2.12	100.0
	福 島	160,139	11,387	7,989	268	264	7.11	70.2	0.167	2.35	98.5
関 東 甲 信 越	茨 城	191,650	12,849	8,371	370	301	6.70	65.1	0.193	2.88	81.4
	群 馬	72,631	3,977	2,846	146	112	5.48	71.6	0.201	3.67	76.7
	栃 木	107,748	5,820	3,367	142	123	5.40	57.9	0.132	2.44	86.6
	埼 玉	111,693	10,400	4,133	205	187	9.31	39.7	0.184	1.97	91.2
	千 葉	104,098	7,174	2,896	143	8	6.89	40.4	0.137	1.99	5.6
	東 京	178,189	11,384	4,951	184	145	6.39	43.5	0.103	1.62	78.8
	神奈川	557,189	29,918	9,875	646	22	5.37	33.0	0.116	2.16	3.4
	山 梨	127,398	7,190	4,194	128	32	5.64	58.3	0.100	1.78	25.0
	長 野	160,746	10,022	5,718	187	25	6.23	57.1	0.116	1.87	13.4
東 海 北 陸	新 潟	172,457	8,525	6,213	300	17	4.94	72.9	0.174	3.52	5.7
	富 山	63,627	3,762	2,154	106	71	5.91	57.3	0.167	2.82	67.0
	石 川	83,895	4,343	2,944	112	112	5.18	67.8	0.134	2.58	100.0
	福 井	52,428	2,588	1,912	125	112	4.94	73.9	0.238	4.83	89.6
	静 岡	341,910	16,198	8,642	297	246	4.74	53.4	0.087	1.83	82.8
	愛 知	144,578	8,342	2,743	93	71	5.77	32.9	0.064	1.11	76.3
	三 重	133,007	8,491	2,229	57	34	6.38	26.3	0.043	0.67	59.6
岐 阜	岐 阜	149,948	10,263	2,314	82	70	6.84	22.5	0.055	0.80	85.4

大腸がん検診		A	B	C	D	E	B / A	C / B	D / A	D / B	E / D
		受診者数	要 精検者数	精検 受診者数	大腸癌 発見数	D票 回収数	要 精検率	精検 受診率	大腸癌 発見率	適中度	D票 回収率
		C I 票 検便法				検便法					
近畿	滋賀	65,238	4,343	3,461	232	232	6.66	79.7	0.356	5.34	100.0
	奈良	0	0	0	0	0	0.00	0.0	0.000	0.00	0.0
	京都	280,088	10,119	1,754	45	45	3.61	17.3	0.016	0.44	100.0
	大阪	326,131	15,738	7,204	292	248	4.83	45.8	0.090	1.86	84.9
	和歌山	20,687	1,283	540	32	28	6.20	42.1	0.155	2.49	87.5
	兵庫	250,883	13,083	7,976	418	351	5.21	61.0	0.167	3.19	84.0
中国四国	鳥取	41,256	2,438	1,539	57	39	5.91	63.1	0.138	2.34	68.4
	島根	65,306	3,255	2,125	124	71	4.98	65.3	0.190	3.81	57.3
	岡山	36,920	3,039	1,836	36	3	8.23	60.4	0.098	1.18	8.3
	広島	47,835	3,040	1,657	90	73	6.36	54.5	0.188	2.96	81.1
	山口	108,676	7,232	4,208	224	151	6.65	58.2	0.206	3.10	67.4
	香川	18,883	1,138	967	27	27	6.03	85.0	0.143	2.37	100.0
	徳島	24,437	2,141	1,454	41	29	8.76	67.9	0.168	1.91	70.7
	愛媛	104,229	6,427	4,738	140	107	6.17	73.7	0.134	2.18	76.4
	高知	98,326	3,678	2,012	111	88	3.74	54.7	0.113	3.02	79.3
九州	福岡	471,218	27,405	13,651	530	455	5.82	49.8	0.112	1.93	85.8
	佐賀	54,171	4,194	2,880	115	115	7.74	68.7	0.212	2.74	100.0
	長崎	50,157	3,469	2,416	99	85	6.92	69.6	0.197	2.85	85.9
	熊本	242,145	13,351	9,478	287	286	5.51	71.0	0.119	2.15	99.7
	大分	128,455	8,024	4,892	125	73	6.25	61.0	0.097	1.56	58.4
	宮崎	36,227	2,416	1,238	36	31	6.67	51.2	0.099	1.49	86.1
	鹿児島	105,519	7,866	5,969	149	140	7.45	75.9	0.141	1.89	94.0
	沖縄	135,525	7,692	3,495	111	54	5.68	45.4	0.082	1.44	48.6

本稿で発表できなかった集計資料は、平成24年度消化器がん検診全国集計資料集（1部3,000円、送料別）としてまとめてありますので、ご希望の方は学会事務局までお申し込み下さい。